



図書館 だより

図書館 ☎ 69♦3706

おしえて! 図書館 (レファレンス)

Q アジサイって種類があるの?

A こちらの本にたくさん紹介されていますよ。



日本のアジサイ図鑑
川原田邦彦 三上常夫
若林芳樹/著 柏書房

一般家庭で広く植栽され、梅雨時から初夏にかけての風物詩といえるアジサイ。日本国内で目にする機会の多い、代表的な600種類を紹介。栽培・繁殖や盆栽も、プロが徹底解説。アジサイ園や名所の一覧なども掲載されています。

レファレンスとは情報や本などを探すお手伝いをする図書館のサービスのひとつです。

図書館に入った本



いろいろな本があります。
一部をご紹介します♪

小説・エッセイ	『女のいない男たち』 村上春樹/著 文藝春秋
	『赤毛のアンの島へ』 吉村和敏/写真 山内史子/文 MOE編集部/編 白泉社
金融	『たった7日で株とチャートの達人になる!』 ダイヤモンド・サイ編集部/編 ダイヤモンド社
美容	『大人に似合う「美女ボブ」へアカタログ』 冬舎社

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

連載100回によせて

■イワシの悲しみ

大きな水槽に何千匹ものイワシが群れている水槽というのをよく見るでしょう。あれを見るとキレイだなと思う反面、大変だな、とも思う。

イワシはなぜ群れるかは、敵に食われる確率を低くしている、つまり自分が食べられる可能性を抑えているのだが、それは自分以外の他の誰かが食べられる、という前提に成り立っている。そもそも群れ全体の「食べられる」とい

■イワシよりもサメか

イワシの群れに突っ込むサメなどを見ると自分ならサメのほうになりたいな、なんて自分勝手に思うわけですが冷静になって一番やりたいのは、その光景を岩陰で眺めているカサゴだったりする。イワシの「群れると食べられにくくなる理屈」はわかるが、そも



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎ 68♦2059

そもはじめから群れなんか作らなければ目立たないし、見つけたエサも群れで取り合いにならない。その代わり頼れるのは自分のみ。一人でも敵に見つかれば食われる可能性はあるし、食い物が無ければ人生(魚生か)は終わる。自分の責任と工夫や知恵で勝負する。私は群れるイワシよりもそんな生き方が好きで、一番イヤなのは、群れの中から努力も何もせずに文句や悪口をいうヒト、じゃなかった魚だが、おそらく実際のイワシ界にはそんなのはいないと思う。実際のイワシ界の生活はそんな言動をおこせるほど甘い世界ではないからです。

■書き方の変換

この連載は今回で100回目だそうで、当初は水族館の当たり前前を当

たり前に書いていました。AはAです、という風に書いていた気がします。最近はやつとしたりBにも見えるかもしれないよ、僕にはCに見えるよ、というような書き方を意識して書いています。そのころからこの連載は面白いね、という感想をいただけるようになりました。書いている自分も苦痛ではないです。群れの中から群れを見ても小さな世界の当たり前のことしかわからないわけで、それが常識だと思っても、群れの外から見ただけではなくもっと面白いものが見えてくることもあります。来月から書かなくていいですよ、と言われるまでそんな気持ちで書いていきたいと思っています。